

# 支部代表者会議 10回

10.21~22 一 波  
10.31~11.1 二 波

# 2波の闘いの意義を確認



79.11.12  
No. 273

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市曙町二一八(動力車会館)  
電話二二五八、九。(公衆電話)二二七二〇七

## 強化された御の団結の力で、80年代を 闘いぬける労働運動を構築しよう！

動労千葉は11月10日、才10回支部代表者会議を開催し、10.21、22、11.1の2波に  
わたるジェット燃料増送阻止・備蓄ゼロ・国鉄35万人体制攻撃粉碎闘争の中間総括  
と今後の展望・とりくみについて討議決定した。

### 「つらぬいた正義の闘い」 確信高くさらに前進を！

支部代は、西森副委員長を座長に奥川  
委員長のありさつの後、中野書記長から  
「闘いの総括と今後の展望」の提起を受  
け、質疑討論を行い全体で確認された。

### 確認された 中間総括の視点と今後の展望

1. 闘いの目標は何であったか

- (1)、鉄道を武器に、三里塚・ジェット闘  
争貫徹、燃料備蓄ゼロへ一歩の闘  
い。
- (2)、「スト封殺体制」をぶち破り、国  
鉄35万人体制粉碎闘争の突破口を切  
りひらく闘い。
- (3)、80年代にむけて日本労働運動の戦  
局的再生の突破口を切りひらく闘い。

2. いかなる情勢の下で闘われたのか  
3. どのように総括するのか  
    へ敵にいかなる打撃を与えたか

- (1)、助役株刺し導入など国鉄当局・「  
本部」反動集団のスト破り策動を完  
全に封じ込め、二波にわたる指名ス  
トと減産闘争を貫徹した。
- (2)、空港の最大の弱点「燃料問題を鮮  
明にし、備蓄量を3日以下」という最  
悪の状況に追い込み二期工事強行策  
動に大打撃を与えた。
- (3)、「土地を武器に」闘い抜く反対同  
盟との労農連帯を一層強化した。
- (4)、国労、動労中央の裏切りの屈服の  
なかで国鉄35万人体制攻撃を強行し

ようとする国鉄当局の前に大きく立  
ちはだかる闘いであった。

5. 全国の戦局的良心的労働者を鼓舞  
激励した。

4. 今後の展望ととり組みについて

- (1)、三里塚・ジェット闘争の更なる貫徹  
などとりくみとして
- (2)、国鉄35万人体制攻撃粉碎の具体的  
なとりくみとして
- ① 新採獲得を中心に積極的な闘  
② 「55・3」を展用する。

### その他の確認事項について

- 1. 才三回定期大会成功にむけて
- (1)、佐倉・銚子支部の早期結成について
- (2)、本部役員・大会代議員選挙について
- ① 大会代議員選挙(選挙告示が二号)  
公示(11月5日)、立候補受付(10月15日)、  
投票日(20日)、不在投票(17日、19日、南票20日)
- ② 本部役員選挙(選挙告示が三号)  
公示(11月12日)、立候補受付(16日、22日)  
投票日(30日)、不在投票(27日、29日)、南票(12月1日)
- 2. 組合員教育を一層強化する
- (1) 研修講座 (2) 新組合員教育 (3) 取  
組での学習活動の強化
- 3. サークル活動の一層の強化について